

平成29年1月19日

北関東防衛局長 殿

榛東村長 真 塩 卓

相馬原演習場における日米共同訓練について

我が国を取り巻く安全保障環境においては、不安定な状況ではありますが、こうした中、我が国の平和と安全のため、ご尽力されていることに敬意を表します。相馬原演習場における日米共同訓練については、平成29年1月18日に発表されました。

平成25年度の日米共同訓練の際にもオスプレイの参加が検討されており、その当時、当村として熟慮を重ね「反対するものではない」との決断をいたしました。

当村は、日米共同訓練の必要性については理解をしており、相馬原演習場においても過去に2度行われておりますが、この度の訓練においては、オスプレイの参加を調整されているとの発表がありました。

オスプレイについては、普天間飛行場への配備以降、本土における訓練等の機会も増加しており、今後、陸上自衛隊においてもオスプレイを導入することを決定していることも承知しております。これに加え、昨年4月の熊本地震の際には、被災者に対する生活物資の輸送等のため派遣されたことも記憶に新しいところです。

しかしながら、当村と致しましては、昨年12月に沖縄県名護市東海岸の沖合でオスプレイが1機不時着水した事案が発生しており、オスプレイについては未だ不安がありますので、下記の事項について、ご説明をお願いします。

記

- 1 相馬原演習場における日米共同訓練において、オスプレイの参加が調整されることとなった経緯及び目的について、ご説明ください。
- 2 オスプレイについては、政府としてはどのように安全性を確認されたのか、ご説明ください。
- 3 オスプレイの騒音や振動について、ヘリコプターと比較した場合はどのようなものか、ご説明ください。
- 4 今回の日米共同訓練の実施に際し、当村民の安全・安心のためどのような安全対策が図られるのか、ご説明ください。
- 5 村民に対して、不安を抱くことがないように、訓練内容等に関する情報について、できる限り情報提供をお願いします。

以 上